

図 1 2 支柱断面図

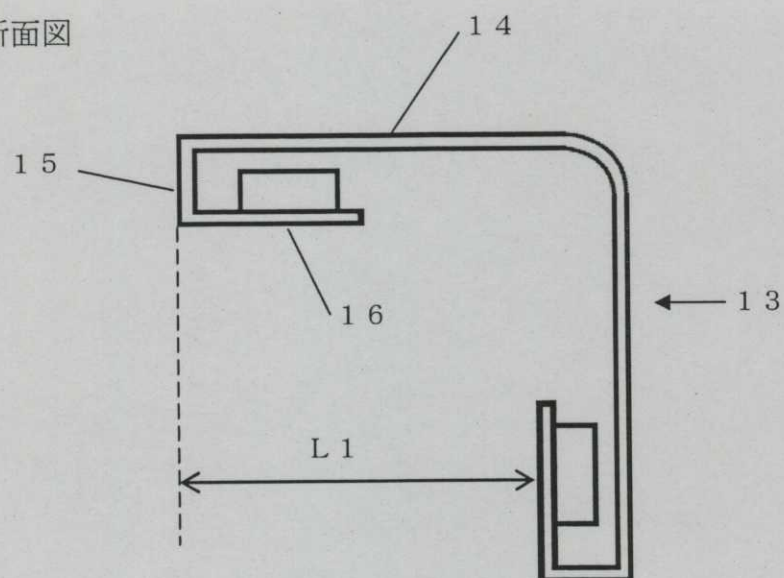
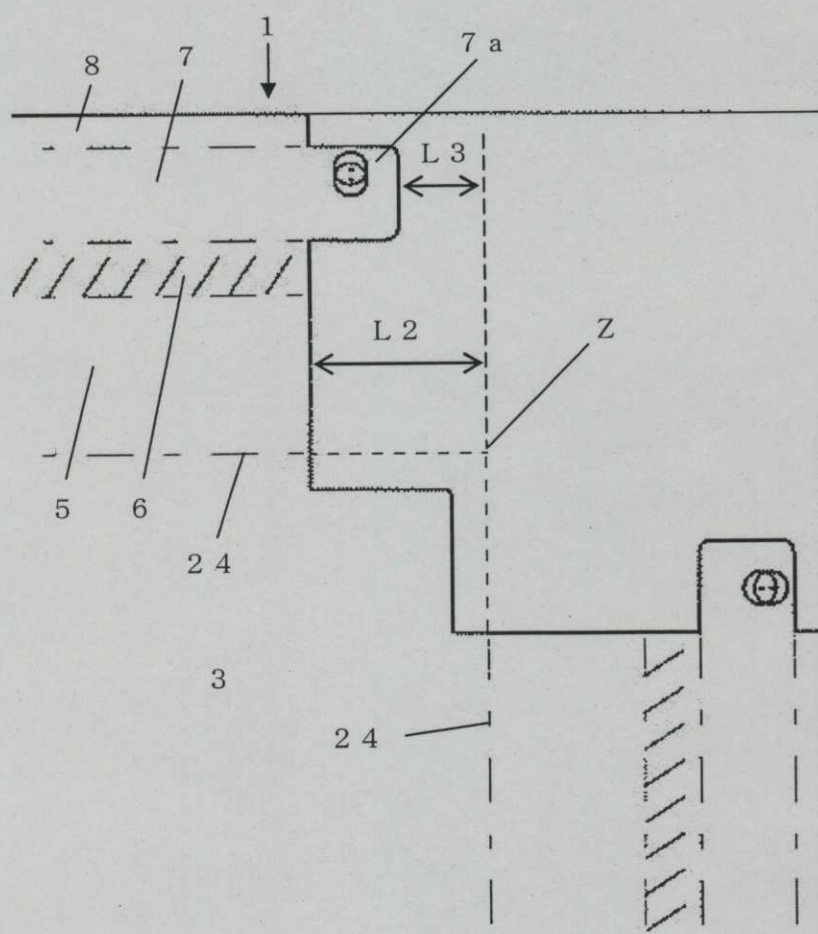


図 1 3 棚板の展開図のコーナー部分



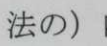
別 紙

被告製品の構成（原告の主張）

- a : 複数枚の直角四辺形の金属製棚板と、L形に接曲された4本の支柱とからなり、各棚板のかど部を支柱の内側面に当接し、ボルトにより固定して組み立てられた金属製棚において、
- b : 上記棚板は、直角四辺形の箱底の四辺に側壁と内接片とがこの順序に連設されていて、
- c : 各側壁が箱底のかどから支柱の幅の長さだけ切欠された形状に金属板を打ち抜き、
- d : 内接片を折り返して側壁に重ね合わせるとともに、内接片が箱の内側へくするように側壁を起立させて浅い(直角四辺形の)箱状体としたものであって、
- e : 側壁の切欠部内に延出している内接片を支柱の内側に当接し、切欠によって作られた側壁の側面で支柱の両側面を挟み、
- f : 内接片を支柱にボルトにより固定し、
- g : 各支柱の下方にキャスターを付設して金属製棚を移動可能とした
- h : ことを特徴とする金属製ワゴン

別 紙

被告製品の構成（被告らの主張）

- a 1 : 複数枚の金属製棚板 1 と、4 本の支柱 1 3 とからなり、各棚板 1 の 4 つのコーナー部 2 に支柱 1 3 を外側から重ねて、ボルト 2 1 及びナット 2 0 により両者を固定して組み立てることとした金属製棚である。
- a 2-1 : 支柱 1 3 は、棚板 1 の本体部分の鋼板の板厚より厚い鋼板を材料にして打ち抜きと曲げ加工で製造され、平面視で直交した姿勢で一連につながっている左右 2 枚の外板 1 4 と、外板 1 4 の先端から平面視で内向きに直角に曲がって延びる左右の端板 1 5 と、外板 1 4 と平行に延びる状態で端板 1 5 の先端から平面視で直角に曲がった（外板 1 4 の幅寸法のおよそ半分の幅寸法の）内板 1 6 とを有し、断面「」状の中空構造になっている。
- a 2-2 : 支柱 1 3 の上端は金属製の蓋板 1 7 又はプラスチック製の蓋 1 7' で塞がれ、支柱 1 の下端は開口している。
- a 2-3 : 支柱 1 3 の端板 1 5 と内板 1 6 とがつながった角部には、上下方向に一定間隔で多数のスリット 1 8 が形成されており、端板 1 5 と内板 1 6 とは、隣り合ったスリット 1 8 の間に位置したブリッジ状部 1 9 を介してつながっている。
- a 3 : 棚板 1 の底板 3 は、直角四辺形の 4 つの隅部を階段状に切り欠いたような形状をしており、変則二十角形というべき形状である。
- a 4 : 2 つの支柱 1 3 の上部には取手 2 3 が付けられている。
- b 1 : 棚板 1 は、底板 3 とその周囲に設けられた 4 つの壁部 4 とを有する本体と、この本体の 4 つのコーナー部に配置された 4 枚の平面視 L 形の固定板 9 とから成る。
- b 2 : 本体は、鋼板を材料にして打ち抜きと曲げ加工と溶接によって製造された

ものである。

- b 3 : 底板 3 は、図 9 のように、直角四辺形の 4 つの隅部を階段状に切り欠いたような変則二十角形というべき形状である。
- b 4 : 底板 3 における前後左右の 4 つの長い辺（階段状に切欠かれた短い辺の部分を除いた長い辺）に、外側板 5 と上面板 6 と内側板 7 と下板 8 とがこの順でつながっている（図 1 1 参照）。
- c : 材料である鋼板の打ち抜きにより、外側板 5 と上面板 6 と下板 8 と内側板 7 の両端部は、底板 3 の隣り合った長い辺（階段状に切欠かれた短い辺の部分を除いた長い辺）2 4 の交点 Z を基準にして、外側板 5 と上面板 6 と下板 8 は支柱 1 3 の内側面の幅寸法 L 1 より長い長さ L 2 で、また、内側板 7 は支柱 1 3 の内側面の幅寸法 L 1 よりも短い長さ L 3 で、それぞれ切り欠きされた形状になっている（別紙図 1 2 及び図 1 3 参照）。
- d 1 : 棚板 1 は底板 3 と 4 つの壁部 4 とで浅い箱状となっている。
- d 2 : 棚板 1 の各壁部 4 は、外側板 5 の上端につながった断面上向き半円状の上面板 6 と、外側板 5 と約 1 cm の間隔をあけて平行に延びる姿勢で上面板 6 の先端から下向きに延びる内側板 7 と、内側板 7 の下端から外側板 5 に向けて斜め下向きに延びる下板 8 とを有し、両端が開口する中空構造になっている。
- d 3 : 上面板 6 の内側板 7 につながる半分と内側板 7 と下板 8 とが箱の内側にくるように外側板 5 が底板 3 の縁から直角に立ち上がっている。
- e : 棚板 1 の各壁部 4 を構成する内側板 7 の両端部は、外側板 5、上面板 6 及び下板 8 の端面よりも底板 3 のコーナーの側に突出した突出端部 7 a になっており、支柱 1 3 の内側に当たっている一方、壁部 4 の外側板 5 と上面板 6 と下板 8 の端面とが支柱 1 3 の端板 1 5 に対向しているが、壁部 4 の外側板 5 の端面と支柱 1 3 の端板 1 5 との間には隙間を生じ当接していない。
- f 1 : 底板 3 のコーナーを挟んで隣り合った 2 枚の突出端部 7 a は、平面視 L 型で下端が、底板 3 に接し板厚が棚板 1 の本体部分の板厚よりも厚い固定板 9

に内側から溶接により固定されて一体化され、突出端部 7 a と固定板 9 にはそれぞれ通し穴 1 1 と 1 2 が設けられており、支柱 1 3 の内板の内面に上下方向に飛び飛びに（間隔をあけて）溶接されたナット 2 0 に、一体化された突出端部 7 a と固定板 9 の通し穴 1 1 と 1 2 からボルト 2 1 がねじ込まれ、一体化された突出端部 7 a と固定板 9 が支柱 1 3 に固定されている。

f 2 : 固定板 9 の角部には、内向きに突出した上下 2 つの補強リブ 1 0 を潰し形成している。

g : 最下段の棚板 1 の下面の 4 つのコーナー付近にキャスター 2 2 を付設して移動可能とされている。

h : 以上の特徴を有する金属製ワゴン。